

## 入学を希望される方へ

### 修士課程 (入学時期: 4月)

- (1) 第1次審査: 書類選考
- (2) 第2次審査: 第1次審査の合格者に対して筆記試験(論文)及び面接

	第1回試験	第2回試験
1. 出願受付期間	2019年10月11日(金)~ 10月18日(金)	2020年1月6日(月)~ 1月10日(金)
2. 第1次審査合格発表	2019年11月6日(水) 午前11時	2020年2月5日(水) 午前11時
3. 第2次審査(筆記試験)	2019年11月13日(水) 午前10時~12時(2時間)	2020年2月12日(水) 午前10時~12時(2時間)
4. 第2次審査(面接)	2019年11月14日(木) 又は11月15日(金)	2020年2月13日(木) 又は2月14日(金)
5. 第2次審査合格発表	2019年11月26日(火) 午前11時	2020年2月25日(火) 午前11時

※合格発表は本学ホームページ上に掲示。また、郵便にて合否を通知。

### 博士課程 (入学時期: 4月または10月)

- (1) 第1次審査: 書類選考  
研究業績、実務経験、修士論文、英語能力等により総合的に審査する
- (2) 第2次審査: 面接  
研究計画書に基づいて専門的知識、実務経験、基礎的研究能力を総合的に審査する

	第1回試験	第2回試験
1. 出願受付期間	2020年1月20日(月)~ 2020年1月24日(金)	2020年5月11日(月)~ 2020年5月15日(金)
2. 第1次審査結果通知	出願期限日から、原則として、2か月以内に本人に通知する。	
3. 第2次審査(面接)	第1次審査に合格した者にのみ実施する。第2次審査の詳細は、第1次審査結果と共に通知する。	
4. 第2次審査結果通知	第2次審査日から、原則として、2か月以内に本人に通知する。	
5. 入学時期	2020年4月 又は2020年10月	2020年4月 又は2020年10月

### お問い合わせ・資料請求

政策研究大学院大学 アドミッションズオフィス  
 [住所] 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1  
 [電話] 03-6439-6046 [FAX] 03-6439-6050  
 [E-mail] admissions@grips.ac.jp [Web Site] <http://www.grips.ac.jp>

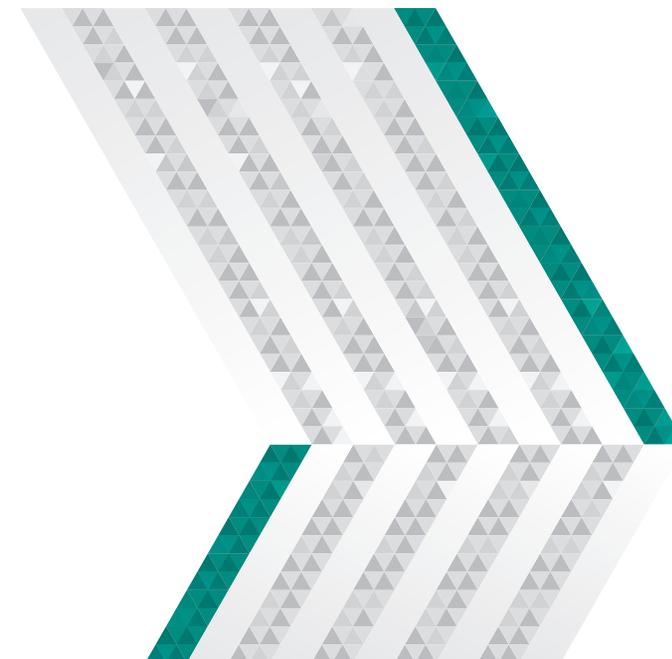


★ photo: Masao Nishikawa

## 主な担当教員・科目

教員名	主な担当科目
角南 篤	"Analysis of Science and Technology Policy Process/ 科学技術外交論"
有本 建男	科学技術イノベーション政策史
INTARAKUMNERD Patarapong	Economics of Innovation/Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences
根井 寿規	Outline of Energy Policy/Energy and Environmental Science&Technology/Energy Data Analysis/Energy Security/Energy Policy in Japan
隅蔵 康一	Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation/Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World/Science, Technology and Entrepreneurship
鈴木 潤	Economics of Innovation/Management of Innovation
飯塚 倫子	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context
林 隆之	科学技術イノベーション政策と評価/Bibliometrics and Applications
上山 隆大	Comparative Paths of Science, Technology and Innovation Policy
畠中 薫里	ミクロ経済学I
田中 誠	ミクロ経済学II
杉原 茂	マクロ経済学
黒澤 昌子	計量経済学
岡本 亮介	公共経済学
大山 達雄、諸星 穂積	数量分析基礎
大山 達雄、諸星 穂積、土谷 隆	計量データ解析法
園部 哲史	Trade and Industrial Development
山内 慎子	Strategy for Economic Development

## 科学技術イノベーション政策プログラム Science, Technology and Innovation Policy Program



# 科学技術イノベーション 政策プログラムについて

グローバル化と激しい国際市場での競争と社会の変容のもとで、新産業の創出のみならず、雇用の確保、生活の質の向上、環境問題などの様々な社会的、経済的問題の解決のために、科学技術イノベーションに対する期待は大きく、それを促進する政策に対する期待もまた高まっています。

経済学、法学、政治学、社会学等の学問分野では、現実の政策課題に対して多様な理論や分析手法が開発され、データに基づいた分析結果が蓄積されていますが、それらは政策現場でうまく活かされているとは必ずしもいえず、また政策現場における問題意識が研究者や技術者とうまく共有されずにいます。両者の間のフィードバックを促進することにより、効果的な科学技術イノベーション政策や企業戦略の実行を担う人材を育成することが強く求められています。

本プログラムでは、多様な学問分野の知見を統合して、社会的課題を的確に捉える能力を有し、科学的なアプローチを用いて、科学技術イノベーション政策の企画・立案、実行、評価、修正を行うことができる人材を育成するため、博士課程、修士課程、短期研修等を含む、総合的な教育プログラムを提供します。

## 教育目標

### 科学的なアプローチに基づく 政策研究能力をもつ人材の育成

- 先行研究のレビュー、理論に基づく仮説の構築
- 客観的事実やデータによる仮説検証
- 分析結果に基づく含意の考察

### 科学技術イノベーション政策の企画・ 立案、実行、評価、修正を行う能力をもつ人材の育成

- 過去の内外の政策及び政府の介入とその効果に対する知識
- 科学研究やイノベーションのプロセスに対する理解
- 現実的な政策の形成プロセスに関する理解と企画・実践する能力
- 海外の関係者・機関との議論・交渉の能力

## 想定される学生

- 中央省庁の行政官、立法府(国会、政党、議員等)の政策スタッフ
- 地方公共団体の行政官
- 企業戦略の企画立案に関わる経営幹部及び候補者

## 修士課程プログラム

科学技術イノベーション政策に関する問題分析能力と、政策や戦略の企画力を有し、高度な外国語能力等を身につけた、実務者や行政官を養成することを目指しています。

入学後の約半年間で、科学技術イノベーションの基礎となる科目を集中的に履修し、問題分析と政策・戦略の企画に必要な知識と方法論を身につけます。後半の半年間で、自ら選んだ課題についての政策提言(ポリシー・リサーチ・ペーパー)を作成します。得られる学位は、修士(公共政策)；Master of Public Policyです。

### 学位取得までのイメージ【修士課程】

標準修了年限1年			
春	夏	秋	冬
コースワーク	テーマ検討、 データ収集・分析	コースワーク リサーチセミナー ポリシー・リサーチ・ ペーパー作成	審査・修了

修了要件：必修科目：6単位、選択科目：24単位以上の履修し、かつポリシー・リサーチ・ペーパーの審査に合格すること

### 論文タイトル例

- 「知識のグローバル化」時代における世界が一体となったファンディング制度のあり方
- 執行ルールと効率性～科研費と米国NSFの比較から～
- 医療研究推進政策の課題と対応策
- 日本における研究者のモビリティと国際共同研究の関係  
—The Mobility of Researchers and International Collaborations in Japan—

### 修了生コメント>宮城 あずささん 2018年修士課程修了

本プログラムの魅力は、科学技術政策について、政策の視点とアカデミアにおける理論の視点の両方を学べることです。科学技術政策に特化し、それを軸にエネルギーや高等教育といった色々な分野について学べるコースは本プログラムならではのようです。計量分析ひとつとっても、科学技術分野に適したモデルや理論を知ることができました。さらに、日本にいなから、海外の学生と共に学べることも魅力です。入学当初は、予想外の留学生の多さに戸惑いましたが、これらの学生と学ぶ中で、彼らの視点での「科学技術政策とは何か」を考えさせられました。これから入学される方は、経済学や社会学など他のバックグラウンドを持った上で、「科学技術」の分野をどう体系的にしていきたいかという意識を持って研究に取り組むといいと思います。

- イノベーションを通じた経済成長や開発、技術移転等と密接に関わる国際機関の幹部職員
- 研究機関やファンディング機関のマネジメント・スタッフ
- 国や地方の政策形成に関わるシンクタンク職員
- 本分野の研究と次世代の教育を担う研究・教育職の志望者、など

## 博士課程プログラム

科学的なアプローチを用い、科学技術イノベーション政策のための高度な政策研究能力、政策や戦略の企画・実践力と、そのために必要となる複数のディシプリンを修得するとともに、社会科学諸分野における分析能力、高等教育での教授能力、高度な外国語能力を身につけた、行政官、実務者、研究者等を養成することを目指しています。

学位は、行政官等の実務者向け学位：博士(政策研究)；Doctor of Policy Studies、または、研究者向け学位：博士(公共政策分析)；Ph.D. in Public Policyの2種類を用意し、志望者の希望や特性に応じた論文執筆指導を行います。

最初の1年間は社会科学関連の理論や分析手法を身につけるための集中的なコースワークにより単位を修得します。2年目以降はゼミなどへの出席が中心でパートタイム就学が可能です。

### 学位取得までのイメージ【博士課程】

1年目		2年目		3年目以降	
春	秋	春	秋	春	秋
コースワーク(選択必修科目:4単位以上; 選択科目:12単位以上)					
	課題研究: 1単位	課題研究: 1単位	課題研究: 1単位	課題研究: 1単位	課題研究
QE			博士論文		最終審査

QE: Qualifying Examination (論文提出資格試験)

### 論文タイトル例

- University and Industry Collaboration in Japan and Thailand:  
Influence of Key Actors' Characteristics and Modes of Collaboration
- 原発利用のための制度の変化に関する考察  
—福島原発事故の影響に着目して—
- The Societal Impact of Open Access to Research
- Promoting Scientodiversity through Research Grants

### 修了生コメント>嶋田 義皓さん 2018年博士課程修了

職場で国内留学のような制度を見つけたことが、進学の直接のきっかけです。科学と社会の関係に関心があったので、近いコースを持つ東大、東工大、一橋などいくつかの大学をリストアップして比較しました。最終的には、科学技術政策のコースが他の開発経済学、公共政策、外交などの文脈に埋め込まれている印象が決め手となり、GRIPSにしました。博士課程では科学研究の多様性に着目して、ファンディングプログラムの性格や規模が、研究の多様性にどのような影響を与えているのか分析を行いました。国のレベルでは研究課題の分布が生態学で研究されている多様性の指標や枠組みで分析できること、大学レベルでは競争的資金が機関の論文数や分野の多様性に貢献していることを明らかにしました。